



家庭通信



児童養護施設柏葉荘 2016年3月VOL. 132

篠路の冬は明るく、温かい 2月11日柏葉荘の外壁いっぱい、イルミネーションが点灯。その横では、小学生が作ったスノーキャンドルに明かりが灯りました。光の競演は、札幌電気工業協同組合青年部のメンバーが柏葉荘の

子ども達のために、汗を流し実現してくれました。昼は、高さ11メートルを超える高所作業車で空中散歩。雪まつりで賑わう「つどいむ会場」が一望の下です。

3日後の14日には、柏葉荘の向かいの篠路コミュニティーセンター広場で、スノーフェスティバルが開催。雪像制作と、キャンドル作りに柏葉荘の子ども達も参加。東京ディズニーランドの夢から覚めないチームは、オラフを短時間で作り上げ、最優秀賞に輝きました。

こんな二つの光景は、厳しいと聞いていた篠路の冬が、どこよりも温かく、光り輝いている事を教えてくれました。

施設長 澤山 正



3月の行事

〈施設行事〉

3/4 卒業激励会



〈百合が原小学校〉

3/26 参観懇談

3/3 1,3,4,ゆ年参観懇談

3/4 2,5年参観懇談

3/18 卒業式

3/25 修了式

〈上篠路中学校〉

3/15 卒業式

3/25 修了式



〈篠路中学校〉

3/2 卒業を祝う会

3/25 修了式



☆幼児さんの日常☆



カプラでタワーを作ったよ～
いね



皆で食べると美味し



夕飯の支度のお手伝い



雪遊びって楽しい！！



はい、チーズ☆

節分

2/3の「節分」は、ブロック毎に豆まきをしました。その年の年女・年男の児童や職員が鬼になり「鬼は外！」「福は内！」と言いながら今年の福を願って、鬼に豆を投げました。楽しんで豆を投げている子もいれば、職員の鬼に驚いて、泣いている子もいました。夕食には恵方巻きが出ており、今年の恵方「南南東」を向きながら、児童は願い事を心の中で唱え、恵方巻きを食べていました。



スノーフェスティバル&アイスキャンドル

前日から雨が続き不安もありましたが、当日は雨も少なく、無事にスノーフェスティバルが開催される事になりました。

子ども達はチームに分かれて、自分たちで考えた雪像を作り、「サッカーボール」や「お笑い芸人」「オラフ」等を力合わせて作り、完成させました。そして、女の子チームが作ったアナと雪の女王「オラフ」が地域の中で、最優秀賞に選ばれました。

また雪像作りが終わると、自衛隊の方が作ってくれた大きな滑り台で遊んだり、甘酒やホットミルクを頂きました。表彰式後は、つきたてのお餅と豚汁をお腹一杯に食べる事が出来、子ども達は満足そうな表情を浮かべていました。



バレンタイン

女子ブロックでは、バレンタインが近づく「今年は何を作ろうかな」「誰に渡そうかな」とソワソワし始めます。

バレンタインの前日には、小学生から高校生まで、チョコレート作りに一生懸命になりました。チョコレートを型に流し込んで、飾り付けをする子や、ケーキやクッキー、ブラウニーを作る子もいました。渡す相手や友人、家族の事を考えながら、皆気持ちを込めて、一生懸命に作りました。



イルミネーション

今年も、札幌電気工業協同組合青年部様主催のイルミネーション点灯式が、2月11日にありました。午前中は高所作業体験で体育館よりも高くから篠路の町を見ることが出来ました。夕方から食堂前に集まり、今年は子ども達が将来の夢や目標を書いた短冊も飾って、去年以上にわくわくしながらのカウントダウンでした。点灯されると大きな歓声と拍手、みんなのきらきらした笑顔があり、主催して下さった方々も、喜んでいました。



編集後記

日に日に寒さが増し、施設でも体調を崩す子が増えてきました。おたふく風邪や、インフルエンザ等に気を付けて、予防に努めていきたいと思います。

そのような中でも、子ども達は冬の楽しい行事や、イベントに心躍らせ、外で雪像や雪だるま作りをしたり、ソリで遊ぶ姿が見られました。今月は、そんな元気な子ども達の様子をお伝え出来たかと思います。

高校受験

今年は中学3年生の児童が、全ブロックで10人います。志望校はそれぞれですが、志望校に無事合格し、楽しい学校生活を送る事を夢見て、頑張っています。

私立高校の受験が、2/16日～20日まであり、過去の問題を解いたり、今まで習ってきた教科書の復習、参考書の活用等をし、真剣に学習に取り組んでいます。

また、その約2週間後には公立高校の受験が迫っており、気が抜けない様子で、職員もサポートしながら、この時期を乗り越えて行こうと思います。

〈苦情対応〉

特にありません。